

### ③ 中更相に於る結核

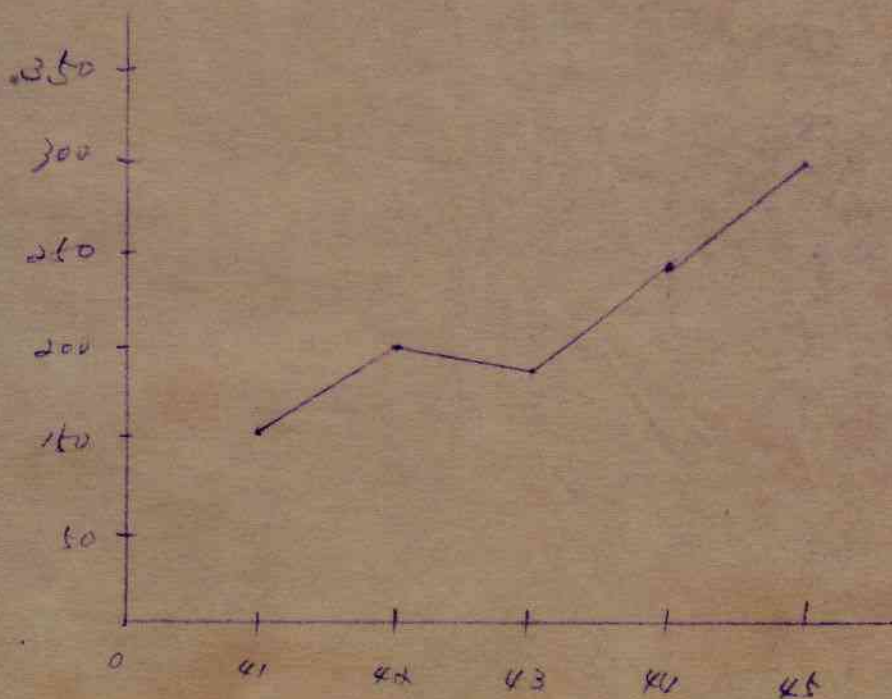
医療判定の結果、結核による要通院(B)、要下院(C)の判定の出たものの傾向は、月別の変化はあまりみられないが、年間を比較すると増加して来る。自強館(結核通院患者の収容機関)での結核入院患者の発生を加えれば増加率はおどろくべきものとなる。

中更相に於る結核患者(B、C判定者の合計)は、昭和41年4月から46年6月までをみると全相認者件数の10.13%を占めて居る。その変遷は、昭和41年9.07%、42年11.48%、43年10.42%、44年9.70%、45年13.51%、46年(4-6月)11.37%と居っており比率自身の増加はみられず、相認者数がわずかながらでも減少を示している。故にC判定(入院)の増加が考えられる。この増加は単なる結核患者数の増加なのか興味深いものがある。

○ 中更相に於るBC判定(TBのみ)数の推移

年	41年度		42年度		43年度		44年度		45年度	
	B	C	B	C	B	C	B	C	B	C
4	19	9	23	18	11	26	10	16	11	17
5	14	21	14	11	17	17	6	20	18	21
6	12	13	12	14	16	16	7	20	16	14
7	19	16	33	22	13	18	18	12	14	26
8	14	12	20	12	13	18	19	18	10	24
9	16	9	11	13	11	22	20	19	17	40
10	14	19	13	20	24	11	14	29	22	29
11	14	14	17	14	14	14	13	13	19	33
12	21	12	13	24	19	16	10	20	24	20
1	14	14	20	19	12	11	9	26	29	19
2	16	6	16	12	14	10	3	17	37	33
3	16	7	16	22	14	12	12	21	27	29
計	199	164	208	208	180	192	152	231	246	294

○ 昭和41年～45年の結核入院患者の推移



#### ④ 入院患者の退院動態

中要相に於る入院患者(精神病院を除く)の退院動態をみると、自己退院、無断退院、飲酒退院が多く全治又は略治退院というのはまとめて数値的に低いものである。

昭和10月全退院者210名中、64%の自己退院、26名の無断退院、29名の飲酒退院と全体の17%を占めている。略治、全治退院は43%と若干総数のみにかまるとは無に等しい。

このように総核患者は、事故退院を多くくりかえし、入院回数は平均1.7か6回を呈し、病院に於る在院日数は極めて低い。

。昭和10年10月4日現在の入院中患者の入院回数(TD)

	阪奈病院	河崎病院	丹生病院	石崎病院	計
1回	37人	21人	12人	19人	109人
2	16	14	9	21	60
3	6	4	2	6	18
4	6	2	0	1	13
5	3	0	1	2	6
6	2	0	2	0	4
7	2	0	0	0	2

平均 1.7か6回

### ⑤ 中更相と結核入院可能病院の問題

以上述べた現状に対し病院側の受け入れ体制はどのようになっているのだろうか。全国の結核の減少傾向が病院側にも反映して病床の減少がみられる。生活保護による処遇又単身労働者ということも、国立病院がシロシットアウトをくわていす。国立の場合身元保証の問題がある為。即決という態度をまえからいさおり私立の病院にたよらざるをえない。昭和45年には、広崎病院、河崎病院、阪奈病院、常岡病院、豊島ホエ病院がうのほとんどもを占めている。入院依存率は、広崎病院37.5%、河崎病院27.1%、阪奈病院14.5%、常岡病院12.2%、豊島ホエ病院3.6%となり、広崎病院、河崎病院に大きく依存した型となっている。全体の64.6%を占める。

昭和46年(4-6月)に於ては、河崎病院の入院が0に近くなり(病院の内状による)、常岡病院が結核病棟の閉鎖で0、新たに丹生病院が加わったが、依存率は、広崎病院39.4%、阪奈病院14.4%、豊島ホエ病院3.0%、丹生病院13.1%で広崎、阪奈病院が73.8%をも占めている。

従って、右崎、防秦兩病院で入院処置をまかされてい  
 る実状であり、兩病院で事故退院した患者の入院は不  
 可能という実状があるのである。早急に結核病院の解決が  
 せまらねばならぬ。

○ 45年度病院別入院退院者数

区 月	右崎病院		防秦病院		河崎病院		常岡病院		豊和病院		計	
	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院
45年4月	8	6	0	3	8	11	6	8	1	1	21	23
5	6	12	0	2	6	10	7	12	3	3	21	29
6	13	14	0	0	10	8	8	10	1	0	22	32
7	13	9	1	1	8	8	11	8	3	0	40	26
8	11	10	4	3	9	11	11	10	0	3	34	37
9	23	12	4	3	10	11	6	14	3	1	46	41
10	21	13	0	4	13	13	10	6	1	2	44	38
11	9	7	4	2	16	11	1	3	0	2	30	26
12	14	13	2	2	7	3	3	1	1	3	33	22
45年1月	12	19	8	3	6	13	1	11	2	3	29	49
2	17	11	8	11	14	13	1	4	0	2	44	41
3	8	12	19	6	8	9	2	8	0	2	36	37
計	144	138	60	40	112	121	71	94	14	22	413	416

○ 46年度病院別入院退院者数

区 月	右崎病院		防秦病院		豊和病院		内生病院		計	
	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院	入院	退院
46年4月	13	12	12	10	1	0	4	1	30	23
5	11	12	14	7	0	0	2	3	27	22
6	14	11	10	10	2	0	7	12	42	33

(6) 更生相談所(546A/〜)に於る結核の動向

1) 愛媛地区の結核の動向

昭和37年6月1日より愛媛地区の結核は、従来の西成保健所より分離して、専門保健所として愛媛会館分室が会館内に設けられ、後主査制を以て対応して来た。

○ 愛媛結核患者数(活動性分類別受療状況別別)  
(西成保健所)

受療別	活動性分類 年次	総 数	活動性肺結核			活動性肺 外結核	不 活 動 性	不 明	
			感 染 性		計				
			空洞 型	感染 性					
総 数	43	1110	20	447	426	401	21	477	132
	44	1436	27	518	501	419	20	443	2
入 院	43	130	26	322	360	114	7	49	
	44	481	26	354	381	91	3	6	
右遷移中	43	111	2	97	97	230	14	160	5
	44	143	1	148	149	216	14	123	
医療未履	43	442		13	13	44	3	266	100
	44	367		11	11	61	2	293	
不 明	43	17		3	3	9			1
	44	24		4	4	11		21	2

患者数は昭和43、44年30人と差は存いが、感染性患者は、543年31.4%に比べ、544年38%と高く、感染性患者は543年75.1%であるのに対し、544年は70%と543年に比して低い。

## 2) 更生相談所に関する対策

### ○ 公費負担

結核予防法によると、重傷の排菌者は、3ヶ月により  
命令入院（保健所が知事の委任事務をする）となり巨  
額公費負担（都道府県に於て）となり、3ヶ月による  
公費負担（都道府県に於て）を申請により指定医療機  
関で処理でき（保健所に於て申請受理）、保険料は生  
活保護で残りの半額も処理できるので、結核の適正な  
医療を国に於て普及させている。従って、結核行政の  
責任者は、当道都道府県知事である。

○ 愛隣地区の単身労働者は、制度を熟知しておら  
ず、自覚症状がある時はじめて更生相談所の窓口で登  
用の相談に来るのが一般的である。ために、66年2月  
16日に実施機関が愛隣地区に移転して以来、結核につ  
いては、数増の傾向がある。

当所に於ては、以前の中更相時代の指定医療機関を  
足場として、バツトの開拓に努めてはいるが、公立病  
院が生保患者及び単身労働者に門戸を開放してくれな  
い大きな障がある。

46.2.16 ~ 47.1.31までの資料で、愛媛地区に於ける  
 新発症者を分析してみる。その一、船病院担当ケース  
 ワーカーで、処理している。

○ 新発症患者数 (活動性用数, 年令, 階級別)  
 (西水産院出)

年令別	活動性用数 年次	総計	活動性肺結核			肺外結核	不明	
			感染性		非感染性			
			麻風菌陽性	不明				
総計	43	536	10	229	243	22	10	3
	44	537	16	261	277	24	5	1
0-4	43	14				10	2	
	44	12				10		
5-9	43	13				13		
	44	6				6		
10-14	43	6				4	2	
	44	2		1	1	1	1	
15-19	43	9		3	3	4	1	
	44	7		2	3	3	1	
20-29	43	61	1	24	24	33	3	
	44	58	1	17	18	38	2	
30-39	43	163	3	82	91	68	4	
	44	168	6	107	113	73	1	1
40-49	43	124	2	56	64	50	4	2
	44	125	7	61	68	57		
50-59	43	87	2	33	34	51	1	
	44	88	1	29	30	46		
60-69	43	47		18	18	27	1	1
	44	58		27	27	31		
70~	43	12		7	7	4		
	44	14	1	6	7	7		
不詳	43							
	44							



感染性結核は、新患者の昭和43年は46.3%、44年は51.6%を占め、西成区の約2倍の率を示している。これは当地区の単身労働者が就労先で定期検診がなく、又病気に対する恐怖、無知などにより検診を受けることがなく早期発見がおくれている。年2回保健所に赴き西成署前で定期検診を行っているが、発見しても治療を受ける患者は少ない。

○ 採指定医療機関

(更生相談所管内 542.1.31現在)

病 院 名	性 相 診 科
東 住 吉	2
河 崎	
津 田	
長 尾	
あ 大 三	
大 輪 原	
羽 野	3
曉 館	2
広 崎	
警 察 五 木	
有 有 沢	
有 阪 五	
阪 奈 生	
田 高 田	
相 相 原 五	
計	7

# 入所命令書

大阪市西成命水2-3/A/号  
昭和 47年 1月 12日

■■■■ 殿

大阪市長 大島 靖 (印)

結核予防法第29条の規定により結核療養所（又は結核病床を有する病院）に  
こと を命ずる。

入所（入院）する  
下記の者を入所（入院）せしめ

患者氏名 ■■■■ 性別、年齢 男 34才

患者の住所 大阪市西成区東萩町 ■■■■

入所の期間 昭和47年 1月 1日 から  
昭和47年 6月 30日まで

## < 患者票 >

- 1. 結核予防法第35条  
命令入所による (全額公費)
- 2. 結核予防法第36条  
(半額公費) 他は 国保、社保、自己負担

担当者	病院名	所在地	経営	病床数	全病室	重相抜
	中和				(11)	0
	大三輪				20	36床
	吉野					
	榛原					36床
	奈良療養所		国立		(10)	6
	万根山		国立		(10)	4
	羽曳野		公立		(10)	3 36床
	中本				(10)	9
	高津				(10)	1
	北市民		公立			
	日赤		私立		(10)	1
	市大		公立			
	日生				0	
	都立				(3)	15
	京都府立		公立		(10)	1
	国立南大阪		国立			0
	新大阪					
	常岡				(10)	91 90
	貴志木				(10)	154 26 0
	豊中				(11)	127 1
	中畑				(12)	20 24
	晓明館				(10)	101 2 36床
	高見分院				(10)	116 11 0
	干石花					
	済生会		私立		(10)	3
	加納				(11)	130 27
	関西医科大学					
	丸山					
	収					

担当者	病院名	所在地	経営	心臓数	即日誌	厚労省
	広 崎					35床
	弘 済 院		公立			
	藍 野				100	100
	警 察 茨 木		半立			35床
	吹 田 市 民		公立			
	坂 本					
	山本(旧大和)					0
	大和(東)					
	大和中史					
	津 守					
	芦 原					
	佐 藤					
	加 高					
	有 沢					35床
	有 沢 才 五					36床
	大 阪 医 大					
	阪 奈 産					35床
	川 世					35床
	島 田					35床
	至 誠					
	相 原					35床
	相原才五					36床
	往吉内科					
	放 出					
	済生会吹田		半立			
	済生会茨木		半立			
	期内科外科					
	済生会中津		公立			
	多 根					

担当者	病院名	所在地	経営	病床数	全収額	厚相級	
	浅香山				173	(2) 12	
	泉北		国立				
	東住吉					(10) 2	31床
	関屋						
	和泉医療センター				53	(10) 30	
	住和					(11) 20	
	守川						
	阪和						
	河崎						31床
	津田						31床
	東香里						0
	天王寺						
	愛染橋						
	向谷						
	長尾						31床
	女工						31床
	野江安田						
	東岸和田						
	生野中央						
	相川						
	浅井						
	小川						
	住元江						
	岸田記念						
	計						